



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社トミタ 上場取引所 東
 コード番号 8147 URL <http://www.tomitai.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 稔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 中村 龍二 TEL 03-3765-1219
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,837	△5.8	178	△4.0	302	△12.6	221	△16.0
2022年3月期第2四半期	9,376	13.6	186	58.4	346	54.3	263	101.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 599百万円 (28.4%) 2022年3月期第2四半期 467百万円 (21.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	42.68	—
2022年3月期第2四半期	50.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	16,150	10,737	64.8
2022年3月期	16,264	10,226	61.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,470百万円 2022年3月期 9,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,900	7.7	580	39.1	680	△5.9	410	△16.2	79.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	6,158,000株	2022年3月期	6,158,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	972,717株	2022年3月期	972,717株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	5,185,283株	2022年3月期2Q	5,185,290株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進んだことで景気は緩やかな回復基調にあるものの、世界的な半導体不足に加え、ウクライナ情勢の長期化や中国でのロックダウンの影響によるサプライチェーンの混乱、急激な円安の進行や原材料価格・原油価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

わが国の工作機械業界は、当第2四半期連結累計期間は、国内は需要が前年同期比21.4%増加、海外でも需要が前年同期比10.3%増加し、その結果国内外全体の受注額は14.0%増加し、8,956億円となりました。

こうした環境下、工作機械を主力取扱商品とする当社グループの受注・売上につきましては、国内では半導体や建機関連部品業界の旺盛な需要のため、加えて、海外では業績回復及び従来とは異なる業界からの需要増加のため、受注額は順調に増加しました。一方で、半導体や一部部品の供給不足により、工作機械の納期が引き続き長期化していること、当社グループの主力ユーザーである自動車メーカーの工場の稼働日数、工場消耗品の需要がまだ回復途上であることなどから、売上高は前年同期比減少となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は88億3千7百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益は1億7千8百万円（同4.0%減）、経常利益は3億2百万円（同12.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億2千1百万円（同16.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

日本

半導体や一部部品不足を主因とした長納期化の影響により工作機械の売上が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は52億1千6百万円（前年同期比15.3%減）となり、営業利益は8千1百万円（同28.2%減）となりました。

北米

半導体や一部部品不足の影響により完全な回復には至っていないものの、為替変動及びメキシコを中心とした自動車メーカー向けの受注増加を主因として売上が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は15億9千9百万円（前年同期比4.5%増）となり、営業利益は5千6百万円（同51.7%増）となりました。

欧州

自動車メーカーの設備投資に対する受注・売上が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億6千7百万円（前年同期比106.3%増）となり、営業利益は1千1百万円（前年同期比328.0%増）となりました。

アジア

ベトナム及びインドでは新型コロナウイルス感染症による影響から回復基調にあり、前年同期の売上高を大幅に上回りました。一方で、中国ではロックダウンの影響及びサプライチェーンの混乱により売上が減少し、タイでは自動車メーカー向けの機械の売上が増加したものの利益率の高い工具等の売上が減少した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17億5千3百万円（前年同期比12.7%増）となりましたが、営業利益は3千1百万円（同25.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金が4億9千5百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1億1千3百万円減少し、161億5千万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が5億8千9百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ6億2千3百万円減少し、54億1千3百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が3億9千2百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ5億1千万円増加し、107億3千7百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前年同期比4億8千万円増加し、59億3千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少9億6千7百万円などにより3億2千9百万円の支出となりました（前年同期は1億8千7百万円の収入）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入4千

2百万円などにより5千8百万円の収入となりました（前年同期は1千6百万円の収入）。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1億5千万円などにより6千1百万円の収入となりました（前年同期は1億5千1百万円の支出）。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、半導体・建機関連等の需要が旺盛な業界や航空機関連、医療機器関連業界への営業の強化及び欧州の最先端の自動車部品製造用機器の取扱いを増やし、営業基盤の拡大に努めております。しかしながら、通期の業績予想につきましては、世界的な半導体や部品不足の継続、ウクライナ情勢の長期化やサプライチェーンの混乱等、事業環境は依然として不透明であることから、現時点では2022年5月16日に公表いたしました予想を据え置くことといたしますが、今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,818,951	5,940,884
受取手形	366,895	376,093
売掛金	3,012,350	2,516,913
電子記録債権	1,182,534	1,162,082
商品	731,875	826,567
その他	588,116	769,804
流動資産合計	11,700,724	11,592,346
固定資産		
有形固定資産	1,042,492	1,114,191
無形固定資産	60,925	52,439
投資その他の資産		
投資有価証券	2,341,478	2,263,166
投資土地	787,862	787,862
その他	344,527	354,872
貸倒引当金	△13,970	△13,970
投資その他の資産合計	3,459,898	3,391,931
固定資産合計	4,563,316	4,558,561
資産合計	16,264,041	16,150,907
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,200,186	1,610,301
電子記録債務	1,494,699	1,241,639
短期借入金	236,914	295,332
未払法人税等	156,870	113,222
賞与引当金	77,000	52,300
役員賞与引当金	51,000	14,600
その他	480,047	579,048
流動負債合計	4,696,718	3,906,445
固定負債		
長期借入金	-	100,032
役員退職慰労引当金	296,232	310,585
退職給付に係る負債	23,935	28,545
その他	1,020,381	1,067,906
固定負債合計	1,340,549	1,507,069
負債合計	6,037,268	5,413,515

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	397,500	397,500
資本剰余金	280,300	280,300
利益剰余金	7,967,358	8,100,535
自己株式	△453,404	△453,404
株主資本合計	8,191,754	8,324,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,254,594	1,212,793
土地再評価差額金	529,500	529,500
為替換算調整勘定	10,657	402,904
その他の包括利益累計額合計	1,794,752	2,145,199
非支配株主持分	240,266	267,262
純資産合計	10,226,773	10,737,392
負債純資産合計	16,264,041	16,150,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,376,847	8,837,553
売上原価	7,847,445	7,240,891
売上総利益	1,529,401	1,596,662
販売費及び一般管理費	1,343,322	1,418,002
営業利益	186,079	178,660
営業外収益		
受取利息及び配当金	17,405	22,557
仕入割引	6,644	7,250
受取賃貸料	46,585	44,127
為替差益	20,978	62,005
保険解約返戻金	29,933	-
助成金収入	56,028	-
その他	2,653	10,852
営業外収益合計	180,230	146,793
営業外費用		
支払利息	2,017	1,907
不動産賃貸費用	16,401	14,835
売上割引	999	2,244
その他	654	4,025
営業外費用合計	20,072	23,012
経常利益	346,237	302,441
特別利益		
固定資産売却益	1,152	983
投資有価証券売却益	-	30,940
特別利益合計	1,152	31,923
特別損失		
投資有価証券評価損	-	16,424
特別損失合計	-	16,424
税金等調整前四半期純利益	347,389	317,939
法人税、住民税及び事業税	96,672	98,142
法人税等調整額	△12,439	2,245
法人税等合計	84,232	100,388
四半期純利益	263,156	217,551
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△454	△3,775
親会社株主に帰属する四半期純利益	263,611	221,326

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	263,156	217,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,241	△41,800
為替換算調整勘定	134,778	424,175
その他の包括利益合計	204,020	382,375
四半期包括利益	467,177	599,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	466,554	571,773
非支配株主に係る四半期包括利益	623	28,153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	347,389	317,939
減価償却費	29,421	29,991
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24,419	10,255
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,800	△24,700
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,700	△36,400
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	862	1,367
受取利息及び受取配当金	△17,405	△22,557
支払利息	2,017	1,907
為替差損益 (△は益)	△6,712	△16,446
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△30,940
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	16,424
固定資産除売却損益 (△は益)	△1,152	△983
売上債権の増減額 (△は増加)	577,561	634,833
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△347,759	△3,612
仕入債務の増減額 (△は減少)	△422,509	△967,156
前渡金の増減額 (△は増加)	17,210	△122,643
前受金の増減額 (△は減少)	97,172	67,795
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△5,285	50,243
その他	△65,833	△106,550
小計	183,656	△201,230
利息及び配当金の受取額	17,405	22,557
利息の支払額	△1,992	△2,002
法人税等の支払額	△11,588	△149,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,481	△329,981
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,063	△11,453
有形固定資産の売却による収入	1,224	1,353
投資有価証券の取得による支出	△8,051	△9,597
投資有価証券の売却による収入	-	42,000
その他	37,898	36,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,006	58,391
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△70,546	17,603
長期借入れによる収入	1,853	150,000
長期借入金の返済による支出	△24,990	△16,720
自己株式の取得による支出	△31	-
配当金の支払額	△57,038	△88,149
非支配株主への配当金の支払額	△1,095	△1,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,849	61,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	97,666	331,946
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	149,304	121,932
現金及び現金同等物の期首残高	5,306,280	5,813,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,455,585	5,935,884

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

従来、当社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社において、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア			
売上高							
外部顧客への売上高	6,160,313	1,530,690	129,846	1,555,996	9,376,847	—	9,376,847
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,341,290	3,816	42,320	8,319	1,395,746	△1,395,746	—
計	7,501,603	1,534,507	172,166	1,564,315	10,772,593	△1,395,746	9,376,847
セグメント利益	113,756	36,948	2,692	42,276	195,674	△9,594	186,079

(注) 1. セグメント利益の調整額△9,594千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア			
売上高							
外部顧客への売上高	5,216,378	1,599,724	267,931	1,753,518	8,837,553	—	8,837,553
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,273,101	23,247	88,054	10,234	1,394,637	△1,394,637	—
計	6,489,479	1,622,972	355,986	1,763,753	10,232,191	△1,394,637	8,837,553
セグメント利益	81,698	56,056	11,525	31,358	180,639	△1,978	178,660

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,978千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。